

ほんぶん よ まえ
本文を読む前に

- ◇ 私たちは、言語以外にどんな方法でコミュニケーションをしていますか。
- ◇ あなたの国と日本とで、意味の違うボディランゲージがありますか。

ないようり かい
内容理解

ほんぶん よ
本文を読んで、次の質問に答えてください。

1. 人間は、どのような手段によって、他者とコミュニケーションをしていますか。

- _____
- _____

2. 非言語表現とは、例えばどのようなものですか。

3. 非言語表現は、どのように使われますか。

4. 非言語コミュニケーションを行う時、誤解が生じるのはどうしてですか。

5. 非言語表現の文化による相違について、次の表の空欄を埋めてください。

①	ある民族	
	に 日本	
②	中 国	
	に 日本	

6. 外国人とのコミュニケーションを円滑にするためにすべきことは何ですか。

クローズテスト

次の[]の中に適当なことばを入れて、文章を完成してください。必要なら助詞も忘れずに入れてください。本文と違うことばでもかまいませんが、文章の意味がわかるようにことばを使ってください。

A

非言語表現はコミュニケーションの中で頻繁に[]、言語のようには意識的に学習しにくい。したがって、[]国や文化の非言語表現に接した[]、慣れている自国のものをよりどころにして[]ことになる。もちろん、すべてが[]異なるわけでもないし、全人類に共通した[]たくさんある。しかし、問題は、文化によって、[]異なる方法で[]場合や、似たような表現が異なる[]持っている場合である。

B

習慣的に無意識に[]動作は、外国人とのコミュニケーションに少なからず[]及ぼし、ときには大きな誤解を[]。その上、お互いの非言語コミュニケーションの方法が[]ことに気づくのは大変難しい。[]学習はもちろん大切であるが、異文化の[]学ぶ姿勢もぜひ持ちたい[]。そうすることで、外国人とのより多元的にとらえられ、相互理解の[]もう一歩近づくことが[]。

どっかいれんしゅう
読解練習

したの の中に適当なことばを入れて、本文をまとめてください。

メッセージの伝達的手段

①		[メッセージの % ~ %]
②		
	たと 例えば	
	いふんか ぞく ひとたち 異文化に属する人達にとって	

れい
例)

がいこくじん
外国人とのコミュニケーションにおいて大切なのは、

だけでなく、

ことである。

かいとう
【解答】

ないようり かい
内容理解

- げんご
・言語
 - げんご いがい ひょうげんほうほう
・言語以外の表現方法
- しんたい うご かお ひょうじょう きより くうかん かた
2. 身体の動き、顔の表情、距離や空間のとり方など
- たんどく つか げんご とも つか そうご ほかんてき ほじよてき つか
3. 単独で使われたり、言語と共に使われて相互補完的に、あるいは補助的に使われたりする。
- ひげんご ひょうげん ぶんか おなじこと こと ほうほう ひょうげん ばあい に ひょうげん こと
4. 非言語表現は、文化によって、同じことを異なる方法で表現する場合や、似たような表現が異なる意味を持っている場合があるから。
- | | | |
|---|--------------|--|
| ① | ある民族
に ほん | 肯定的表現で、首を横に振る。

話し手に対する賛同や「話を聞いていますよ」というサインのため、首を縦に振る。 |
| ② | 中 国
に ほん | ごちそうになる時、出された料理を全部食べると料理がまだ足りないという意味になる。

ごちそうになる時は、出された料理を残すと失礼だと考えるため、なるべく全部食べるようにする。 |
- げんご いぶんか ひげんご ひょうげん まな
6. 言語だけでなく、異文化の非言語表現についても学ぶこと。

クローズテスト

A

ひげんご ひょうげん
非言語表現はコミュニケーションの中で頻繁に あらわ 現れていながら、げんご のようには意識的に学習しにくい。したがって、ことなる 異なる くに ぶんか ひげんご ひょうげん せつた ばあい 場合、慣れている自国のものをよりどころにして かいしやく 解釈する ことになる。もちろん、すべてが ぶんか 文化によって ことなる 異なるわけでもないし、ぜんじんるい きょうつう ものも 全人類に共通した ももの ものたくさんある。しかし、もんだい 問題は、ぶんか 文化によって、おなじこと 同じこと こと を異なる方法で ひょうげん 表現する ばあい 場合や、似たような表現が異なる いみ 意味を も 持っている場合である。

B

習慣的に無意識に **行われる** 動作は、外国人とのコミュニケーションに少なからず **影響を** 及ぼし、ときには大きな誤解を **生んでしまう**。その上、お互いの非言語コミュニケーションの方法が **違う** こと気づくのは大変難しい。 **言語の** 学習はもちろん大切であるが、異文化の非言語表現について **学ぶ姿勢もぜひ持ちたいものである**。そうすることで、外国人との **コミュニケーションが** より多元的にとらえられ、相互理解の **実現に** もう一歩近づくことができるだろう。

どっかいれんしゅう
読解練習

- ① **言語**
② **言語以外の表現** [メッセージの **75%～90%**]

例えば **身体の動き、顔の表情、距離や空間のとり方など**

異文化に属する人達にとって

学校などで意識的に学習することが可能である。

コミュニケーションの中に頻繁に現れていながら、言語のように意識的に学習しにくい。

例)

日本人は聞き手になった時、話し手に対する賛同や、「話を聞いていますよ」というサインのため、よく首を縦に振る。一方、同じ肯定の表現でも首を横に振る国民や民族もいる。

日本人は人にごちそうになる時は出された料理を残すと失礼だと考えて、なるべく全部食べるのがごちそうがおいしかったというメッセージになる。一方、中国で同じことをすると料理がまだ足りないという意味になる。

外国人とのコミュニケーションにおいて大切なのは、

言語の学習 だけでなく、 **異文化の非言語表現についても学ぶ姿勢を持つ**

ことである。